



令和3年11月吉日

報道各社の皆様へ  
メディア懇談会  
ご案内

大学共同利用機関法人人間文化研究機構メディア懇談会  
「人間文化研究機構日本研究国際賞」  
第3回受賞者のご紹介

2019年1月、人間文化研究機構では、日本研究の国際的発展と日本文化の理解を深め広めることをめざして、一般財団法人クラレ財団の協力を得て、「人間文化研究機構日本研究国際賞」(NIHU International Prize in Japanese Studies)を新たに創設しました。この賞は、海外を拠点として、日本に関する文学、言語、歴史、民俗、民族、環境などの人間文化研究において学術上とくに優れた成果を上げ、日本研究の国際的発展に多大な貢献をした研究者を、受賞の対象としています。

このたび、第3回受賞者をジャン＝ノエル・ロベール (Jean-Noel Robert) 氏 (コレージュ・ド・フランス教授) (別紙「第3回人間文化研究機構日本研究国際賞受賞者」参照)に決定しましたので、以下のとおり懇談会を開催し、受賞者の業績及び日本研究への貢献をご紹介するとともに、受賞者からの喜びのビデオメッセージをお届けいたします。

日時：令和3年11月30日(火) 16:00～17:00

会場：本部会議室(入場者数の制限あり)

(〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階)

プログラム(プログラムは予定であり、変更する場合があります。)

司会 李成市 人間文化研究機構理事

16:00 開会

機構長挨拶(5分)

平川 南 人間文化研究機構長

「人間文化研究機構日本研究国際賞の選考について」(10分)

李成市 人間文化研究機構理事

16:15 第3回人間文化研究機構日本研究国際賞受賞者「ビデオメッセージ」(15分)

ジャン＝ノエル・ロベール (Jean-Noel Robert)

コレージュ・ド・フランス教授

16:30 話題提供「受賞者の研究業績と日本研究の国際的発展への貢献について」(15分)

末木 文美士 国際日本文化研究センター名誉教授、東京大学名誉教授

16:45 質疑

17:00 閉会

なお、授賞式・記念講演については、令和4年5月～6月に、都内で実施する予定です。

### \* お申込み

参加ご希望の場合には、**当日正午**までに、別紙の参加申し込み用紙に必要事項を御記入いただき、**Fax (03-6402-9240)** または **Eメール (cip-office@nihu.jp)** により人文機構総合情報発信センターまでお申し込みくださるようお願い申し上げます。

また、今回ご参加いただけない場合も、御連絡をいただけましたら、当日配布資料や今後の御案内なども送らせていただきます。

**※受賞者への取材等のご希望は、次ページ【問い合わせ先】までご連絡ください。**

## 会場のご案内

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 2階

〔最寄り駅〕

東京メトロ日比谷線神谷町駅

4b 出口 徒歩約 2分



## 過去の受賞者

**第1回受賞者** ハルオ・シラネ (Haruo Shirane) 氏  
コロンビア大学東アジア言語・文化学部教授、学部長

**第2回受賞者** アンドルー・ゴードン (Andrew Gordon) 氏  
ハーバード大学リー&ジュリエット基金歴史学部教授  
ハーバード大学ライシャワー日本研究所教授

## 関連事業のご案内

- パリ日本文化会館・人間文化研究機構共催企画「COVID19 後の人文知—歴史と文化に学ぶ」

配信サイト：<https://www.youtube.com/watch?v=1ZsCowu1YJc>

人間文化研究機構 YouTube チャンネル (日仏両言語)

講演 1 入口敦志(国文学研究資料館 教授)「江戸の合理主義と倫理の基底」

講演 2 関野 樹(国際日本文化研究センター 教授)

「人文学研究におけるオンライン上の研究資源 — 現状と課題」

コメント ギヨーム・カレ(フランス社会科学高等研究院 教授) ほか

- 第39回人文機構シンポジウム「江戸時代の台風コース復元と都市災害—気候学・考古学・文献史学の協同—」

配信サイト：<https://www.youtube.com/watch?v=VoKgSI7W79U>

人間文化研究機構 YouTube チャンネル (手話通訳有り)

趣旨説明 渡辺 浩一(国文学研究資料館 教授)

講演 1 石神裕之(京都芸術大学 教授)「発掘からわかる江戸の自然改造と都市空間」

講演 2 平野淳平(帝京大学文学部史学科 准教授)「歴史気候資料による台風経路の復元」

講演 3 渡辺 浩一(国文学研究資料館 教授)「1856 年安政東日本台風の被害と江戸の対応」

ディスカッション コーディネーター：日高 真吾(国立民族学博物館 教授), 講演者 3 名

## 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

[www.nihu.jp](http://www.nihu.jp)

人間文化研究機構(人文機構)は6つの大学共同利用機関によって構成されています。

国立歴史民俗博物館 国文学研究資料館 国立国語研究所

国際日本文化研究センター 総合地球環境学研究所 国立民族学博物館

人間文化研究に関する日本の研究拠点として、新たな学問領域の創成、世界をリードできる研究拠点としての組織づくり、大学の支援と教員の流動性の促進、そして人文学や人間文化研究の重要性や研究成果の可視化、社会還元を推進しています。

人文機構の活動情報は、ニューズレター(メール)やNIHU Magazine(Web マガジン)で配信しています。ニューズレターの登録はこちらから。

[www.mag2.com/m/0001674003.html](http://www.mag2.com/m/0001674003.html)



### 【問い合わせ先】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 本部 事務局センター事務室情報発信係  
E-mail:[cip-office@nihu.jp](mailto:cip-office@nihu.jp) 電話：03-6402-9234 ファクシミリ：03-6402-9240

メディア懇談会 申し込み用紙

メディア懇談会に

参加します。

参加できないが資料がほしい。

お名前 :

\_\_\_\_\_

御社名 :

\_\_\_\_\_

御所属 :

\_\_\_\_\_

E-mail :

\_\_\_\_\_

連絡が付きやすい電話番号 :

\_\_\_\_\_

\*資料の送付を御希望の場合のみ

資料の送付先 :

〒

\_\_\_\_\_

今後、人文機構からの御案内をお送りしてよろしいですか？

希望します ・ 希望しません

■以下のいずれかに該当する場合は、ご来場をお控えください。

- ①37.5℃以上の発熱がある方、または発熱が続いている方
- ②咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの、新型コロナウイルス感染症を疑われる症状のある方
- ③新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方
- ④過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方
- ⑤ご自身の体調にご懸念・ご不安のある方

■出席者情報は、感染症関連の非常時連絡先として使用させていただくとともに、保健所等の公的機関へ提供されることがあります。

## 第3回人間文化研究機構日本研究国際賞受賞者

受賞者 ジャン=ノエル・ロベール  
Jean-Noel Robert

現職 コレージュ・ド・フランス教授  
Professor of Collège de France

生年月日 1949年12月30日



### 授賞業績・授賞理由

ジャン=ノエル・ロベール氏はフランスにおける日本仏教研究の第一人者であり、現在はフランスの最高学術機関コレージュ・ド・フランス教授として日本文明講座を担当する卓越した研究者である。フランスではインド仏教や中国仏教については19世紀後半から高度な研究成果が蓄積されてきたが、日本仏教の研究はそれに比べて手薄であった。ロベール氏はベルナル・フランク氏の薫陶を受けて日本仏教研究に取り組み、天台宗研究のため早稲田大学に留学した。氏は博士論文のテーマに日本でも研究者の少ない最澄の直弟子義真の『天台法華宗義集』を選び、詳細な訳注を伴う教義研究を完成させた。本研究は日本天台宗の教理の西洋語による最初の体系的解明であり、その特出した成果に対して第5回渋沢・クロード賞（1988年）が授与された。

その後ロベール氏は、天台宗の基となる鳩摩羅什訳『法華経』のフランス語訳を刊行し、西欧市民の感性に訴える優れた翻訳を通じて、ヨーロッパにおける仏教理解に大きく貢献した。この翻訳は、従来の仏典研究がサンスクリット語原典に基づいていたのに対し、中国語訳（漢文）が果たした役割の大きさに目を向けた点でも、その意義は大きい。

こうしたロベール氏のポリグロットとしての能力は、日本仏教の研究にも遺憾なく発揮されている。とりわけ慈円の釈教歌（仏教教理を和歌に翻案したもの）に注目し、従来文学的価値の低いものとされてきた釈教歌の役割を新たな観点から評価することを試みた。すなわち、中世の詩歌における宗教と文学との関係に統合的視点をもたらし、釈教歌をより広い文学的文脈の中で捉え直したのである。

さらにロベール氏は東アジアの仏教理解が漢文に依拠していることに着目し、それを西洋におけるラテン語の役割と比定することによって、俗語と対比される聖語という観点から、古今東西の文化を比較対照する試みを進めている。この「聖語制（ヒエログラシア）」と「異語制（ヘテログラシア）」を軸とする比較文化論は、日本文化の解明にも今後大いに寄与することが期待される。

最後にロベール氏は教育者としても優れた実績をもち、フランス国立高等研究院で後進の育成と指導に尽力し、幾多の優れた日本文化研究者を育成してきたことは特筆に値する。同時に学術交流の面でも、氏は日本の研究者と緊密に連携して数々の国際会議を組織し、知識交換の場を積極的に設けることに力を注いできた。

以上述べてきたように、ジャン=ノエル・ロベール氏は、その学識、研究業績、教育実績、学術交流のいずれの面においても、第一級の研究者であり、選考委員会は第三回受賞者としてかかる碩学を選ぶことができたことを、ここに喜びとともに報告したい。

## 学歴・学位・職歴

### (学歴)

- 1970年 フランス国立東洋言語文化学院 卒業  
1987年 パリ第7大学 修了

### (学位)

- 1987年 博士号取得 (パリ第7大学文学博士) (国家博士)

### (職歴)

- 1975年～1990年 フランス国立科学研究センター リサーチフェロー  
1979年～1990年 フランス国立高等研究院 講師  
1990年～2011年 フランス国立高等研究院 教授  
2010年～ コレージュ・ド・フランス 日本学高等研究所所長  
2011年～ コレージュ・ド・フランス 教授 (日本文明講座) (現在に至る)

## 主要著書等

### (主要著書)

- 1986年 *Lectures élémentaires en style sino-japonais (kanbun)*, Université Paris 7  
1990年 *Les doctrines de l'école japonaise Tendai au début du IXe siècle : Gishin et le Hokke-shû gi shû*, Maisonneuve et Larose  
1995年 『心の「寺」を観る：フランス人学者が語る仏教の魅力』(佼成出版社)  
2001年 *Kanbun for the XXIst century : the future of dead languages*, International Research Center for Japanese Studies  
日本語版：『二十一世紀の漢文：死語の将来』(国際日本文化研究センター)  
2008年 *Petite Histoire Du Bouddhisme*, Librio Document  
2008年 *La centurie du Lotus : poèmes de Jien (1155-1225) sur le Sûtra du Lotus*, Collège de France  
2012年 *La hiéroglossie japonaise*, Collège de France

### (主要訳書)

- 2003年 *Le sùtra du lotus : suivi du Livre des sens innombrables et du Livre de la contemplation de Sage-Universel*, Fayard  
2007年 *Quatre courts traités sur la Terrasse céleste*, Fayard

## 受賞歴

- 1988年 渋沢・クロード賞  
2008年 Chevalier de l'ordre national du Mérite  
2011年 旭日重光章 (Étoile d'or et d'argent de l'ordre du Soleil levant)  
2012年 Chevalier de la Légion d'honneur  
2013年 天台特別学術賞  
2014年 Commandeur de l'ordre des Palmes académiques